

- 1. 「環境保全米を買う・味わう」みやぎ生協・おむすび屋べにすずめ
- 2. 有機食材で学校給食を!「全国オーガニック給食フォーラム」報告
- 3. 環境保全米関係イベントのお知らせ





みやぎの 環境保全米』とは

環境保全米県民会議が取り 組む『みやぎの環境保全米』 は国連のSDGs(持続可能な 開発目標)の実践そのもので

「環境保全米」の取り組み は1992年のリオデジャネイ 口の地球サミットをきっかけ に始まっています!





環境保全米を買う・味わう 🌭 🗫 🗫 🛷 🗫



「環境保全米はどこで買えますか?食べられる店はありますか?」の質問にお答えして、 県内で環境保全米を販売しているみやぎ生協と仙台市内に2022年オープンしたおむすび店を取材しました。 あなたの好みに合わせて買うもよし、食べるもよし!



宮城県内49店舗展開 みやぎ生協「めぐみ野米」

○みやぎ生協の「顔とくらしの見える産直 めぐみ野」

今から50年ほど前、生産者と消費者の食に対する思 いを結び、幸せを分かち合う「産消直結」の取り組みが 始まりました。さらに未来に向けて新たな一歩を踏み出 すために、この取組みから生まれた商品に「めぐみ野」と いう名前が付けられています。

○「産直 めぐみ野の3つの基準」

- ①「誰」が「どこ」で作ったかがわかること
- ②「どのように」作ったかがわかること
- ③メンバーと牛産者の交流がされていること 「めぐみ野米」も、この基準に沿って栽培しています。

○「めぐみ野米」は生産者が手間ひまかけて大切に作っ た環境保全米です

JAみやぎ仙南(角田市・丸森 町)、JA新みやぎ(大崎市田尻、 遠田郡涌谷町) 管内で約550戸 の牛産者が栽培に取り組んでい ます。化学肥料を減らし、健康で 元気な田んぼで米づくりができる ように、堆肥を使った土づくりを しっかりと行っています。農薬の



使用を抑えるために、稲の生育状況をこまめに見て、生 育状況に合わせた管理や、畦の草刈を行うなど、生産者 の皆さんが手間をかけて大切に育てたお米です。







米袋の「めぐみ野」ロゴと、緑色 の「みやぎの環境保全米」マーク (写真右)が目印!

(原稿・写真ご提供 コープ東北サンネット事業連合 店舗商品本部 産直推進室長 佐々木ゆかり様)



宮城県内のみやぎ生協49店舗(2022年12月時点)

多賀城店	貝ヶ森店	黒松店	幸町店	柏木店	加賀野店	明石台店
榴岡店	南光台店	八木山店	新寺店	鶴ヶ谷店	南小泉店	虹の丘店
桜ヶ丘店	大富店	台原店	柳生店	BRANCH 仙台店	愛子店	岩切店
利府店	市名坂店	荒井店	西多賀店	古川南店	富沢店	国見ヶ丘店
木町店	石巻大橋店	亘理店	名取西店	八幡町店	塩釜栄町店	長町店
錦町店	沖野店	大代店	白石店	岩沼店	石巻渡波店	高砂駅前店
高森店	大河原店	高砂店	蛇田店	太子堂店	A&COOP 角田店	A&COOP 松島店



♪環境保全米ササニシキへの愛とこだわり「おむすび屋べにすずめ」

2022年7月仙台市内に開店した「「おむすび屋べにすずめ」。ササニシキに惚れ込んだ店主、本荘さん(写真左)は「東京で定食屋さんをしていた頃、ササニシキが一番おいしいと感じました。『なぜ環境保全米をつくるのか』(谷川彩月著)を読んで登米に足を運び、生産者やJAの方と生き物調査等の交流を続けました。20年続く、地に足の着いた環境保全米の取り組みが長く続くようにこれからもかかわっていきたいと思います」とお米への思いを語ります。

お店のおにぎりは全てJAみやぎ登米産の環境保全米Cタイプササニシキを使っています。うめ、おかか、ちりめん等の定番のほか、お米本来の味がわかる塩むすびも。海苔や具材も宮城県産にこだわっています。店内調理のお惣菜とおにぎりが選べる「べにすずめ弁当(830円)」や「べにすずめ弁当ライト(670円)」はランチにもぴったり。

(環境保全米ネットワーク 福澤 隼人)









Instagram

MENU

し お…………… 120円 う め…………… 150円 おかか………… 150円 梅ちりめん……… 150円 野沢菜ちりめん 150円等 *玄米おにぎりもあります

SHOP INFORMATION 堂業時間 11:00 ~ 17:0

営業時間 11:00 ~ 17:00 (なくなり次第終了) 店休 日・月曜日(不定休) 〒 981-0933 仙台市青葉区柏木 1-1-39

仙台市青葉区柏木 1-1-39 Tel: 022-727-2526

● 20 「全国オーガニック給食フォーラム」報告 ● ● ● ●

10月26日に東京都内で開催された「全国オーガニック学校給食フォーラム」には、全国から会場1100人、オンライン参加も含め約4000人が参加しました。全国各地の首長30人以上の参加もあり、関心の度合いが高まります。フランスや韓国から有機給食の先進事例報告では、現在に至るまでのきっかけや条例の整備などのお話がありました。また、日本で有機給食を実践している地域からの報告と共に、行政やJAによる奮闘記座談会が行われました。

なぜ今、有機農業を進める上で学校給食が鍵なのかを共有し、食料安全保障の視点からも農業全体の改革が必要だと会場がひとつになりました。未来の子どもたちの安全・安心な食を守るために、一歩踏み出すのは自分たちだと、希望が持てるフォーラム



でした。「オーガニック給食宣言」では、給食を有機にすることで、地域の農業を活性化させ、ひいては食料自給率を上げることや環境保全にもつながると宣言があり、全国の仲間たちと力を合わせていくことを誓いました。

(生活協同組合あいコープみやぎ理事長 高橋 千佳)



環境保全米イベントのお知らせ ••• •••

知る&味わう 赤とんぼセミナー開催決定! 2023年2月21日(火)10:30~13:00



●環境保全米生産者登場! 知りたい、聞きたい環境保全米のこと

●たきたてほかほか!環境保全米食べ比べ (ひとめぼれ、ササニシキ、つや姫等)

場所 たなばたけベジキッチン (陸前高砂駅 JA 仙台産直「たなばたけ」隣)

主催 NPO 法人環境保全米ネットワーク・みやぎの環境保全米県民会議

定員 15名 (申込多数の場合抽選)

申込 お名前、年齢、ご住所、携帯電話番号を okome@epfnetwork.org 宛に お送りください。

メ切 2023年2月15日 (水)

*新型コロナウイルス感染症拡大の状況により 中止する場合がございます。





前号の読者アンケートでいただいたご意見です(①興味を持った記事②感想・今後取り上げてほしい内容)

①2022年有機米の現状

②豪雨の被害状況や作物への影響を取り上げていただきたい と考えていましたので、特に興味を持ちました。収穫にはあ まり影響がなさそうであること、残念ながら有機認証にはな らないこと、goodニュースとbadニュースで良いと思いまし た。

①2022年有機米の現状

②「有機米」の栽培過程に驚愕でした。意図的ではなく不可 抗力で流入した異物ですらも有機米とみなされなくなる、ス トイックだと手作りさんの熱意には頭が下がります。ママ友 皆でスマホで見て「凄すぎる…」と驚きつつも「自然食の食 料店」にあるのかな…仙台はどこで売っているのか?気にな ってました。

①2022年有機米の現状

②宮城県の伸び率ナンバー1はすごいことですね。しかも全国 の1割が宮城県で作られているとは、これは販路としてもとて も大きなチャンスです。しかし、できれば県内の子供たちに 優先して食べさせていただけるのが一番よいなと思います。

①2022年有機米の現状

②宮城県の有機田んぼが全国の一割強にもなるというのは初 めて知りました。あいコープの無農薬圃場で田植え体験をし たので、台風が来た時にどういう影響が出たのか心配でし た。記事にもあったように、飛来や流入まで厳しく管理して いる田んぼが有機米の田んぼなのですから、それだけ価値が 上がって値段もはるのは納得いきます。もっと消費者の目に 留まるような仕組みを期待します。

①2022年有機米の現状

②自分達が長年、生産者さんとの交流を続けている産地。知 っている生産者さんの姿が拝見できて嬉しいし、皆さんにも 詳しく紹介していただけて嬉しいです。

①tbc夏祭り2022

②3年ぶりに開催!来場者数89,000人、やっぱり皆「お米が スキ」なんですネ。抽選会、長蛇の列にびっくりです。

①tbc夏祭り2022

②環境保全米は県内多くの小・中学校給食で利用されている とのことですが全ての小中学校、保育所、幼稚園にも利用し てもらいたいですね。

①tbc夏祭り2022

②tbc夏祭りブースにお邪魔しましたよ!

①tbc夏祭り2022

②毎号興味深く拝読しております。環境保全米PRの記事に興 味を持ちました。参加者が多く目立ってるからです。

①新米発表会

②感激したのが今秋は新米発表会をイベントで開催されてい たことです。コロナ禍で配慮しながらも収穫や生産者、販売 者の方々のご苦労やPRなど直接伺えて改めて、学びになり良 かったです。

①みやぎの環境保全米のテレビCM放送決定

②みやぎの環境保全米のCM放送が決定と知り、小学生が米 に対する様子をはじめ、いろんな風景のCMが楽しみです。

で感想をお寄せください

アンケートにご協力いただいた方の中から抽選で、環境保全米2キログラムを10名様に

- QI 興味を持った記事は?その理由も。
- Q2 環境保全米への疑問や取り上げてほしいテーマ等。
- ●応募方法

次の項目をご記入の上、FAX・メール・郵送で応募先までお送りください。 ・アンケートの回答 ・お名前 ・年齢 ・ご住所 ・電話(FAX)番号 いただいた回答および個人情報は当法人にて厳重に管理しプレゼントの発送、 または各種情報の提供、イベントの案内以外の目的では使用いたしません。

●応募締切

締切は2023年2月28日 (火) 消印有効

※抽選結果は発送をもってかえさせていただきます。

●応募先

NPO法人環境保全米ネットワーク事務局

〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉1-16-3 JAビル別館5F TEL:022-261-7348 FAX:022-261-7488 E-mail:okome@epfnetwork.org

URL:http://www.epfnetwork.org/

【アンケート記入例】

● ア:	ンケートの回答
Q1_	
Q2	

- ●名前 保全米 太郎
- ●年齢 40才
- ●住所

〒980-0011 宮城県仙台市青葉区 上杉1-16-3

●電話番号

022-261-7348